

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成19年11月29日(2007.11.29)

【公表番号】特表2003-512394(P2003-512394A)

【公表日】平成15年4月2日(2003.4.2)

【出願番号】特願2001-532585(P2001-532585)

【国際特許分類】

A 0 1 N 25/28 (2006.01)

A 0 1 N 25/04 (2006.01)

A 0 1 N 25/10 (2006.01)

A 0 1 N 25/30 (2006.01)

A 0 1 N 31/02 (2006.01)

A 0 1 N 35/06 (2006.01)

A 0 1 N 37/02 (2006.01)

A 6 1 K 9/50 (2006.01)

A 6 1 K 47/32 (2006.01)

A 6 1 K 47/36 (2006.01)

【F I】

A 0 1 N 25/28

A 0 1 N 25/04 1 0 2

A 0 1 N 25/10

A 0 1 N 25/30

A 0 1 N 31/02

A 0 1 N 35/06

A 0 1 N 37/02

A 6 1 K 9/50

A 6 1 K 47/32

A 6 1 K 47/36

【手続補正書】

【提出日】平成19年10月4日(2007.10.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 活性物質を送達し放出する方法であって、

a) ヒドロゲルマイクロビーズ内の親水性マトリックス内に複数の活性物質の液滴を混入させるステップであって、ここで(i)前記活性物質は100～400の分子量を有し、ヘテロ原子を含む有機化合物であり、(ii)前記親水性マトリックスは多糖類製であり、(iii)前記ヒドロゲルマイクロビーズは約1 μm～約1000 μmの平均直径を有するステップと、

b) 複数の前記マイクロビーズを溶液中に懸濁するステップと、

c) 前記マイクロビーズを含む前記溶液を基質上に送達するステップと、

d) 前記マイクロビーズを脱水させるステップと、を含む方法。

【請求項2】 溶液中に懸濁したヒドロゲルマイクロビーズを含む噴霧可能な組成物であって、前記マイクロビーズがその中に混入した複数の活性物質の液滴を有する親水性マトリックスを含み、(i)前記活性物質は100～400の分子量を有し、ヘテロ原子を含む有機化合物であり、(ii)前記親水性マトリックスは多糖類製であり、(iii)前記ヒドロゲル

マイクロビーズは約 1  $\mu\text{m}$  ~ 約 1000  $\mu\text{m}$  の平均直径を有する組成物。